

第1回緊急支援物資を熊本支部へ

会員の皆様には平成28年熊本地震義援金に温かいご支援を賜り心より御礼を申し上げます。皆様からお寄せいただきました義援金が平成28年4月28日時点で1,760,000円となりました。

4月29日(金)、当協議会および福岡支部を代表して藤村二郎様に義援金の中から第1回目の緊急支援物資を熊本支部(熊本支部長・社会福祉法人リデルライトホーム 小笠原嘉祐理事長)へ届けていただきました。

藤村二郎理事長様のご協力に感謝申し上げます。

会長 赤枝 雄一



緊急支援物資一覧表を、小笠原嘉祐理事長へ渡す藤村二郎理事長



白川邦弘氏(久住会) 藤村二郎理事長(中央) 小笠原嘉祐理事長(右)

緊急支援物資移送を終えて

4月14日の熊本地震による被災情報の収集後、「素早く動く事」が重要と赤枝会長より命を受け、社会福祉法人リデルライトホーム 小笠原理事長（熊本支部長）と連絡を取り、まずは緊急物資を送る為に準備を進めました。

地理的に社会福祉法人久住会から送る事がより速く行えるとの判断でありました。

すぐに準備を行いました但し福岡県でも一部物資の購入に時間が要し、一日一日が長く感じられました。

4月29日の朝6時30分に福岡県を出発し、移送中、一部の建物が倒壊している風景が目に入り込んで来て、地震の大きさをあらためて感じながらの移動でありました。

移動は比較的スムーズで、施設には9時30分頃到着し、直ちに物資の搬入を行いました。

お忙しいなか、小笠原理事長に面会のお時間を頂戴し、お話を伺いました。

現在、熊本ではようやくライフラインが復旧し徐々に物流も回復しつつあるとの事でした。

必要物資についてお尋ねしたところ、「地域や状況についてバラツキがあり的確な把握は難しく情報のタイムラグが発生する。よって一番大事な事は施設間の物資の流通ルートを保つことが一番重要である。その仕組みの中で情報を交換し徐々に充足させていくしかない」と仰られました。

まだまだ、余震が続く中で施設の職員さんの2割ぐらいが避難所等から出勤であり疲労などを心配されておりました。

小笠原熊本支部長が熊本県経営者協議会の会長施設であったことで、速やかにネットワークが構築され、物流のハブ機能があつてこそ緊急物資が活用されたものと感じました。

また、現地の情報を全国で共有し、必要な物を必要な時に届ける事は重要ではあるが、要望を聞きながらでは遅く想定しながら課題に対し支援を続けることが大事であると思ひながら帰って参りました。

平成28年4月29日

藤村 二郎

緊急支援物資一覧表

NO	品 名 / 寸 法	数 量 ケース	備 考
1	リフレ 高吸収パット ハイパー 2000	5	4*20(1箱) × 5
2	リフレ 簡単テープ止め 横洩れ防止 小さな目L	5	2*26(1箱) × 5
3	リフレ 簡単テープ止め 横洩れ防止 小さな目M	7	3*30(1箱) × 7
4	ムーニー L54枚	2	54枚 × 4袋 太陽セランド(株)
5	ムーニーマンエアフィット男の子ビック	2	38枚 × 4袋 太陽セランド(株)
6	ムーニーマンエアフィット女の子ビック	2	38枚 × 4袋 太陽セランド(株)
7	白粥 (280g × 120p)	10	50p*2
8	ハヤシライス 6p	10	嘉麻市産
9	UAA食品 ハンバーグ煮込み 50p	2	霧島湧水 2*6(1箱)
10	UAA食品 さば味噌煮 50p	2	6*8 (1箱)
11	ひのひかり 10kg	10	5*12(1箱)
12	志布志の自然水 非常災害備蓄用 2L	20	
13	業務用マンタタッチコアレス(トイレトペーパー)	10	
14	リンスインシャンプー 530ml	5	